



平成25年度
3R推進北海道大会2013
みんなでやってみよう! ECO・トライ・R
～エコ・トライ・アール～

開催報告書(講演録)

- 開催日／2013年10月26日(土) 10:00～18:00
- 会場／イーアス札幌 Atown1Fイーアスコート
(札幌市白石区東札幌3条1-1-1)

主 催：環境省北海道地方環境事務所
共 催：農林水産省北海道農政事務所／北海道／札幌市
後 援：経済産業省北海道経済産業局
協 力：3R活動推進フォーラム

開催概要	1
進行プログラム	4
主催者代表挨拶	5
平成25年度『3R推進北海道大会2013』	6
広報大使任命式	7
出展PR①	
3Rクイズ大会①	8
ライヴパフォーマンス①	9
3Rトークセッション①	10
出展PR②	16
3Rクイズ大会②	17
ライヴパフォーマンス②	18
3Rトークセッション②	20
出展PR③	25
3Rクイズ大会③	26
ライヴパフォーマンス③	27
閉会挨拶	29

開催概要

平成25年度 **3R推進北海道大会2013**

みんなでやってみよう！ECO・トライ・R

～エコ・トライ・アール～

- 日 時 平成25年10月26日(土) 10:00～18:00
- 主 催 環境省北海道地方環境事務所
- 共 催 農林水産省北海道農政事務所／北海道／札幌市
- 後 援 経済産業省北海道経済産業局
- 協 力 3R活動推進フォーラム
- 会 場 **イーアス札幌 Atown1Fイーアスコート**
(札幌市白石区東札幌3条1-1-1)

- 参加者数 総参加者数 延べ約500名





【開会挨拶】 主催者代表 環境省北海道地方環境事務所 統括環境保全企画官 笹木 秀敏



【3R推進北海道大会2013 広報大使任命式】 札幌ご当地アイドル 『 Lumina-Ria 』 ルミナリア



【出展PR①】(株)NTTドコモ北海道支社
総務部 広報室 社会環境担当 田嶋 政則様



【出展PR②】(株)マテック
システム企画開発部 課長補佐 村中 久敏様



【3Rクイズ大会(3回実施)】 札幌ご当地アイドル 『 Lumina-Ria 』 ルミナリア



【パフォーマンスライブ① ルミナリア】



【パフォーマンスライブ②
ジュニアJポップダンス】



【パフォーマンスライブ③
JAMJAMクラブ大通気軽に踊り隊】



【3Rトークセッション①】『みんなでやってみよう！
楽しみながらできる究極のエコ料理・エコライフ』
南極料理人/作家 西村淳様
北海道コカ・コーラボトリング(株) 広報・CSR推進部
藤井 朋子様



【3Rトークセッション②】『みんなでやってみよう！
“もったいない”が“カッコいい”宣言』
(株)ソプラティコA. D. S インテリアデザイナー 金森陽子様
特定非営利活動法人 ひまわりの種の会 理事長 新保るみ子様
ルミナリア



【出展PR③】特定非営利活動法人
ひまわりの種の会 理事長 新保 るみ子様



【閉会挨拶】環境省北海道地方環境事務所
統括環境保全企画官 笹木 秀敏

進行プログラム

TIME	LAP	PROGRAM	CAST	CONTENTS
10:00		イベント開始		※展示・ワークショップ等開催
11:00	2	オープニング	MC: 高嶋 伴子	
11:02	3	主催者挨拶	北海道地方環境事務所 笹木 企画官	
11:05	5	3R推進北海道大会 広報大使 任命式	北海道地方環境事務所 笹木 企画官 ルミナリア 5名	任命式として 『3R推進北海道大会広報大使』 タスキを授与 ルミナリアから感想・意気込み等
12:30	30	出展PR 3Rクイズ大会& ライブパフォーマンス ①	NTT docomo様 ルミナリア MC	出展詳細PR MC×NTTdocomo 3Rにちなんだクイズをステージ観覧者 と一緒に進行。 ルミナリアによるライブパフォーマンス
13:00	90	3Rトークセッション ① 『みんなでやってみよう！ 楽しみながらできる 究極のエコ料理・エコライフ』	南極料理人 西村 淳氏 北海道コカ・コーラボトリング様 MC	南極での究極のエコライフをもとに、日常の 生活でも役に立ち、楽しみながら実践でき るエコ料理・エコライフを、エコレジビを交えて 紹介する。
14:30	30	出展PR 3Rクイズ大会& ライブパフォーマンス ②	マテック様 ルミナリア juniorJpopダンスチーム MC	出展詳細PR MC×マテック 3Rにちなんだクイズをステージ観覧者と一 緒に進行。 イーアス札幌マナビヤのダンスチーム ルミナリアによるライブパフォーマンス
15:00	60	3Rトークセッション ② 『みんなでやってみよう！ “もったいない”が “カッコいい”宣言』	A・D・S 金森氏 ひまわりの種の会 新保様 ルミナリア MC	市内企業、団体参加協力により 日常の中の雑貨や物を使いまわすことで役 に立つ方法をルミナリアとともに トークセッションを行う。
16:00	30	出展PR 3Rクイズ大会& ライブパフォーマンス ③	ひまわりの種の会様 ルミナリア “JAMJAMクラブ★ 大通気軽に踊り隊 MC	出展詳細PR MC×ひまわりの種の会 3Rにちなんだクイズをステージ観覧者と一 緒に進行。 ルミナリアによるライブパフォーマンス
17:55	5	クロージング	北海道地方環境事務所 笹木 企画官 MC	閉会挨拶

主催者代表挨拶

みなさんこんにちは、ただいまご紹介いただきました環境省北海道地方環境事務所笹木でございます。今日はお忙しいなか、ご出席いただきましてありがとうございます。

3R推進北海道大会2013の開催にあたりまして主催者を代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。さて、最近ですがIPCCというところから気候変動のレポートが発表されました。今世紀末には平均気温が4.3度あがるとか海面が82センチ上昇するとか、そのような見出しが新聞に踊りましたのでお目にされた方も多いのではないかと思います。

このレポートによりますと私達の大量生産、大量消費の経済活動がCO2の発生を増加させ、このままですと地球温暖化がますます加速化し海面上昇や異常気象にもつながると警告されております。このような状況の中、環境省では今年の5月、今後の重点施策として第3次循環型社会形成推進基本計画を閣議決定し、持続可能な社会と成長の両立を目指して各種施策を展開しているところでございます。私ども環境省北海道地方環境事務所におきましても、循環型社会の実現を目指して様々な取り組みを行っておりますが、その一環といたしまして、本日3R推進北海道大会2013を北海道経済産業局、北海道農政事務所、北海道、札幌市などのご協力のもとに、ここイーアス札幌イーアスコートを会場として開催することになりました。

3R推進北海道大会の目的といたしましてはごみの削減やリサイクル活動に身近に接していただくことにより、参加されたお一人お一人が循環型社会の実現に向かって自ら考え行動する気付きを提供するとともに、ライフスタイルを見直すきっかけにさせていただこうと、毎年、開催しているものでございます。今年の大会では3Rトークセッションとして南極料理人で作家の西村淳先生から究極のエコ料理・エコライフをご紹介していただく他、ご当地アイドルのルミナリアに楽しいステージパフォーマンスを披露していただく予定にしております。また、会場ではワークショップ、リユース・リサイクルコーナーの他、パネル展示を見ながらのクイズラリーなど参加しながら学べる楽しいイベントを準備いたしております。是非、多くの方々にご参加いただきまして積極的に会場を見ていただけましたら幸いです。

最後になりましたが今大会をきっかけに更にいっそうのごみ減量化をはかることにより、循環型社会の形成に向けて取り組みが進むことを祈願いたしまして私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。



環境省北海道地方環境事務所
統括環境保全企画官
笹木 秀敏

司会進行(トークセッション時コーディネーター含)

:高嶋伴子氏



平成25年度『3R推進北海道大会2013』広報大使 任命式

環境省北海道地方環境事務所
統括環境保全企画官 笹木 秀敏

札幌ご当地アイドル

『 Lumina-Ria 』 ルミナリア

- ・ゆり(リーダー)
- ・ひかり(サブリーダー)
- ・みか
- ・えれな
- ・なお



環境省北海道地方環境事務所
統括環境保全企画官 笹木 秀敏:

ルミナリアのみなさん、今日はどうぞ宜しくお願いいたします。晴れ晴れと輝く爽やかな風のように3Rの広報について、みなさんのお力添えをいただきたいと思います。今日は1日宜しくお願いいたします。



ゆり(リーダー):今回、ルミナリアが3R大使に任命していただいたという事で、私達も学びながら楽しませてもらって頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。

みか:3R大使に任命させていただいてこれからもっともっと勉強して頑張っていくので宜しくお願いします。

えれな:今回、3R大使という事でとてもうれしいです。これから自分でできることを探して頑張っていきますので宜しくお願いします。

ひかり:3R大使に任命していただきありがとうございます。これからリサイクルとか頑張っていきますので宜しくお願いします。

なお:今回は3R大使に任命させていただいてすごく光栄に思っています。若い人たちが先頭に立ってこれからどんどん環境について考えていけたらいいなと思っていますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



田嶋氏: 使用済みの携帯電話を回収しまして、それをリサイクルにまわさせていただいております。そしてこのようなエコのイベントに出展して、たくさんの携帯電話を回収してリサイクルするように努力しております。

高嶋氏: 携帯電話の回収なのですが、いらなくなったものを回収することはわかるのですが回収するとドコモさんとしてはどのような利点があるのですか。

田嶋氏: 回収して必要な部品を、だいたい金と銀とパラジウム、この3つに分別されるのですが、それをメーカーさんに売ります。それでリサイクルして新しいものが出来上がります。金、銀と言ったのですが、たくさんそれで儲かっているかというところではなくて金も銀も微量しかとれないですし、リサイクルの部品を創ること自体にもものすごい費用がかかりますので、どちらかというところリサイクル自体は結構、赤字という感じですね。

高嶋氏: 赤字になっていても、これだけの環境の中でやらなければならない、進めていかなければならない事が企業の中でもありますものね。

田嶋氏: はい、あります。ドコモのホームページにも掲載しているのですがドコモ地球環境憲章というものがあまして、その中でドコモは地球環境の保護に貢献しますというふうに社長のサイン入りで会社として宣言しておりますので、その中でも3Rの推進というのも盛り込まれております。

高嶋氏: 携帯電話だけではなく接触が悪くなってしまった充電器とか、そのようなものも回収をしているのですか。

田嶋氏: そうですね、本体と電池だけでも大丈夫ですし充電器の回収も行っております。

高嶋氏: 携帯電話は機械ではあるのですが、おそらくみなさん、それぞれデータが入っていますので、すごく思い入れのあるものだと思います。それを回収にまわすという事はすごく大事なものを手放してしまうような気持ちになるのですが、田嶋さん自身も思われたことはないですか。

田嶋氏: そうですね、長い人は大体3年から4、5年ぐらい使用しますから機械自体にも愛着を持たれる方はいらっしゃいます。ただ、写真ですとかその他のデータ関係というのは、ちゃんと新しいものに移行できるようになっておりますので、そういう意味では心配ないのかなと思います。

高嶋氏: 今、たくさんの機種が出てきていて機種変更する方も多いかと思うのですが機種変更する時に以前の電話を回収しますよとカウンターでは言っていたのですが、どこかでなつかしくなって前の携帯で画像を見たいと思ってしまう事もあるのですが・・・でも意外と見ないですけれども。

田嶋氏: 意外と家のどこかで眠っているケースの方が多いかと思います。

高嶋氏: 気づかないで1台か2台ぐらいはみなさんの家庭にあるのではないかと思います。どうですか？ありますか。うなずいている方もたくさんおられます。今日もたくさんの方にお持ちいただいておりますので是非、最後にブースのPRお願いいたします。

田嶋氏: 今日、携帯電話の回収という事で1日行いますが、今日お持ちになっていない方も多いかと思います。全国のドコモショップでも随時、使用済みの携帯電話を回収しておりますので、もしご家庭で眠っている使用済みの携帯電話がございましたらドコモショップにお持ちいただけたらと思います。会社は問いません。すべての携帯電話を回収しております。

高嶋氏: 今日、1日宜しくお願いいたします。



ルミナリア:第1問

3Rの3つのRはリデュース、リユース、リサイクルである。

高嶋氏:簡単ですね、会場内のイベントのタイトルにもなっております。さあ、○でしょうか？ ×でしょうか？ 全員○でしょうか？ 正解は○です。おめでとうございます。全員が正解になりました。全員立っていただき間違った方から座っていただきましょう。3R、3つのRがつかますリデュース、リユース、リサイクル、おそらくリサイクルは聞いたことがある方多いとは思いますがリデュース、リユースどのような事が説明いただけますか？

ルミナリア:リデュースはごみを減らす事でリユースは繰り返し何度も使う事でリサイクルは再生して使用する事です。

高嶋氏:普段していますよね、ごみを減らしたり繰り返し使う事をみなさんしていますよね。ちゃんと3R生活の中に入っているのかもしれませんが、それでは、続いての問題です。お願いします。

ルミナリア:第2問

北海道で出る生活ごみの年間量は日本国内で消費されるたまねぎの量とほぼ同じである。

高嶋氏:想像しにくいですかね、ごみの量とたまねぎの量なのですが ちょっとイメージして考えてみてください。ちなみにホクレンの資料によりますとたまねぎの年間消費量、需要量ですね、平成22年、およそ140万トンです。これが生活ごみの年間量と同じかどうかという問題です。○か×か さあお願いします。答えが分かれました。正解は○です。

たまねぎの年間消費量はこれぐらい多いんだという感じもしますが北海道で出る生活ごみの年間量140万トン、後ほど解説いたします。

それでは次の問題
お願いします。



ルミナリア:第3問

お店で買い物をする時、エコバッグを持参しレジ袋を断るのはリユースである。

高嶋氏:さあ○でしょうか？ ×でしょうか？ 実はこれ1問目を良く聞いていた方ならわかります。ちなみにリデュースはごみを減らすことリサイクルは再生して使用すること、問題になっているのはリユースです。さあ どうでしょうか？

正解は×です。レジ袋を使用することでごみを出さないという事でリデュースになるのですね。それでは次の問題いきましょう。

ルミナリア:第4問

新聞紙からトイレトペーパーを作るのはリサイクルである。

高嶋氏:さあ ○でしょうか？ ×でしょうか？ こちらは先ほどの問題の関連問題のような感じですよ。

正解は○です。正解者多いですね、使用済みの製品から、資源化することをリサイクルと言うことで新聞紙からトイレトペーパーをつくることはリサイクルという事になります。

結構、まだみなさん立ってますね。次は最後の問題になりますが今までの問題を思い出して最後の問題、じっくりと聞いてください。お願いします。

ルミナリア:第5問

コーヒーの豆かすは消臭剤としてリサイクルできる。

高嶋氏:○でしょうか？ ×でしょうか？ 最後の問題です。お願いします。9対1ぐらいでわかれてましたね。

正解は○です。これは有名ですよ、コーヒーの抽出したかすなのですがすぐれた消臭効果があります。お茶のパックの中に入れてみると消臭剤などにもなりますね。

※じゃんけんにて4人決定。

ウルトラマンのエコバッグとルミナリアのカード配布

ライブパフォーマンス①(ルミナリア)

ルミナリア:

みなさんこんにちは 私たちは札幌を拠点に活動するご当地アイドル ルミナリアです。自己紹介していきたいと思います。

16歳のなおりんこと、なおです。

私がやっている3Rは印刷などで失敗してしまった時に裏が白紙の事ってありますよね。そのような時にその紙を自分ではさみとかで切って重ねて行って最後テープで留めてメモ帳にしてメモ帳を買わないようにしてごみを減らすことをしています。今日は一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

リーダーのゆりりんです。

私がやっている3Rはマイ箸を使用して割りばしをつかわないでごみを減らすという事を心がけています。

ひかりんです。

私は良くコンビニとか百均とかでビニール袋をもらう時にごみにならないようにそれをもらわないようにしています。

18歳のみったんこと、みかです。

私は出かける時にマイボトルを持ち歩いています。

えれちゃんこと、えれなです。

私はいらなくなった服を人に譲り渡したりしています。

※2曲 ライブ披露



3Rトークセッション①『みんなでやってみよう！楽しみながらできる究極のエコ料理・エコライフ』

南極料理人・作家 西村 淳先生

北海道コカ・コーラボトリング(株)

広報 CSR推進部 藤井 朋子氏

(コーディネーター:高嶋 伴子氏)



高嶋氏：3Rのトークセッションとなります。皆様、どうぞおつきあいくださいませ。それではこのトークセッションですがゲスト、お二方お迎えしております。まずは一緒にトークをお楽しみいただきます、そしてお手伝いいただきます北海道コカコーラボトリング株式会社広報CSR推進部藤井智子さんです。どうぞお越してください。宜しくお願いたします。そして、今日はトークに、そしてレシピをご紹介いただきます南極料理人そして作家、西村淳先生です。どうぞ宜しくお願いします。それではお二方をお迎えいたしましてトークセッション進めていきますが、まずは藤井さんから、今様々な企業が色々な取り組みをしていますがCSR推進部にいらっしゃるということでCSRとはどのような部署なのでしょうか。

藤井氏：私達のいる広報CSR推進部というのは広報というのは会社がどのような事を行っているのかをお伝えする部署になります。そしてCSRというのは企業が地域と密着して色々な事業を進めていこうという部署になります。

高嶋氏：色々な事業を進めていく上でも今日の3Rというテーマはつながってきますね。

藤井氏：とても重要なテーマだと思います。

高嶋氏：藤井さんがいらっしゃいます部署はもちろんなのですが女性としても私達2人、料理のレシピとかも聞きたいですよ。

藤井氏：とても興味あります。

高嶋氏：料理したいのですが時間がないのとアイデアが浮かばないのとできれば楽しんで作りたいという気持ちがありますよね。

藤井氏：全く同感です(笑)。

高嶋氏：それをかなえてくれそうな感じがしますよね。西村先生宜しくお願いします。

西村先生：宜しくお願いします。

高嶋氏：南極料理人の映画が公開されて忙しく働いてらっしゃると思うのですが。

西村先生：おかげさまで、自転車操業ですけれど。

高嶋氏：色々なイベントでお話するかと思うのですがみなさんが料理というものに対して何を一番興味をお持ちなのでしょうか？

西村先生：良く聞かれるのは講演会などで奥様が手を挙げてうちの旦那はなにを食べさせてもうまいともまずいとも言わないということです。“まずかったら食わないべ”と言われるその時に料理というのは、もし味つけてしよばいと言われたら、「この頃いっぱい働いているからちよつと塩分濃くしたんだよ」、薄いと言われたら「あなたの体に気をつけてさ」といえば大抵の男は騙せるものだ、それぐらいの位置づけで自分も料理作ってます(笑)。

高嶋氏：2つ覚えておけば男心つかめますかね。

西村先生：そうそうそう、大丈夫です。

3Rトークセッション①

高嶋氏:今日は、料理のレシピはもちろんなのですが、3R推進北海道大会という事で、3Rという難しいイメージがするのですがリデュース、リユース、リサイクルは、西村さんが行ってらした南極ではあたりまえのようにしていた事というか、しなくてはいけない事ですよ。

西村先生:そうです。南極にどのぐらい滞在していると思います。

高嶋氏:1か月とか2か月ですか。

西村先生:1年2か月そこにいます。往復で2か月かかります。1年4か月かかります。自分達の基地は昭和基地よりももっと離れたドーム基地というところだったので、それぐらいかかります。そして補給が一切できません。南極観測船しらせが一旦、日本に帰って物資を持ってきてくれないと補給する手段がありません。南極はウイルスもない土地です。

高嶋氏:1回に持っていくものでしるがなければならぬという事ですね。あるものでまかわなければならぬ、藤井さんこれって難しいことですよ。

藤井氏:とても難しいことですよ。私も冷蔵庫にあるもので何かを作りたいと思ってもなかなかぱっと思い浮かばないので本当に難しいと思います。

高嶋氏:例えば、私達の生活もそうですが、今、着ているものも全て資源から出来ていて季節の変わり目で寒くなったら新しいものを買わなければならぬと思っ、でもそのお店にも行けないという事ですよ。

西村先生:そうですね、店無いですからね。

高嶋氏:台所がなくて設備もなくてお店も無い、南極は氷で覆われていると思いますが、西村先生は水も無いですよとおっしゃられていましたよね。

西村先生:水の原料はあるのですが、世界の90%の真水はありますが雪とか氷とかを溶かして水を作るには結局、燃料を使いますね。燃料がもったいなければ、やはり水をあまり使わないようにと考えますね。

高嶋氏:氷を私達が飲める真水にしなければならぬという事ですよ。

西村先生:1回、溶かした水はそのまま飲むのではなくて基地内のボイラーを循環させます。すると暖房にもなります。“しらせ”の中では、シャワーを浴びるのですがそのシャワーはハリウッドシャワーと言われて非常に贅沢なことでした。

高嶋氏:私、去年の冬に寝台列車に乗りました。シャワーの時間が決まっています10分浴びるのに500円~1000円だったのですが10分では足りないなと思っ、でも使っている間だけ出すという事になると実はあまっていたんですよ。以外とちゃんと節約すれば使えるんですよ。

西村先生:そうですね。

高嶋氏:コココーラさんとしては環境の取り組みでどのような事をされていますか。

藤井氏:色々な事を行っているのですがペットボトルのリサイクル、分別をしっかりするという基本的な事だったりペットボトルが生まれ変わってごみ箱になったり、コココーラの社員が着ているユニフォームにリサイクルされたりしています。北海道ならではの環境に良い取り組みとしては、札幌市の清田区にコココーラの工場がありまして、札幌工場の水源地が清田区の白幡山にあります。その白幡山を守る活動といたしまして植樹を行ったり水源地の散策を子供達と行ったりして水の大切さを授業したりしています。



高嶋氏：環境への取り組みを日本全体、企業さんも行っていますが、それを南極で自ら感じてきた西村先生にとって環境の変化というものをどのように感じていますか。

西村先生：1つはテレビとかラジオでも地球温暖化といわれていますよね。南極では今の時点では本当にあるのかなと言われてます。昭和基地は南極観測隊が今年で55年になりますが一番氷が厚くなっています。そのため、観測船しらせが近づくことができなくて氷上輸送を行っております。氷上輸送だと物資の7割しか“しらせ”から降ろすことができません。その為、物資が不足し来年も同じ状況なら昭和基地は再来年閉鎖されます。逆に南極は寒くなっているという事です。

高嶋氏：世界では温暖化と言われてますが、その差はどこから来るのですか。

西村先生：南極、北極にはオゾンホールが開いております。あれは地球の二酸化炭素を調節する穴と言われてます。自分は気象学者ではないので詳しくは語れませんが、何かがおかしくなっているのは間違いありません。

高嶋氏：季節の変わり目がなくなってきたり様々な変化がありますが、昔は北海道では美味しいお米ができないと言われていたが、今はできるようになってきている。この変化を生かしていかなければならないですよね。

西村先生：そうなんです。今日は話ばかりしていても面白くないし一方通行なので、ちょっと話をしながらクイズをやりたいなと思います。誰でもわかるクイズです。ところがそこに落とし穴があると、なんか景品ないかなということなので南極の生写真を持ってきました。5問ありますので頑張って当ててください。

高嶋氏：すごくきれいな写真ですよ。

西村先生：1か月前の昭和基地の写真です。真っ暗なのが徐々に明けてきて、この時の気温がマイナス40度くらいです。比較的暖かいですよ。

高嶋氏：北海道の陸別が寒い気温マイナス20何度でしたよね。その倍というとか表現するとしたらどのような感じですか。

西村先生：それも映像でできます。冬明けの時期を迎えるところですね。この時期観測隊の頭の中って何考えているかわかりますか？日本に帰ることしか考えていないですね。頭の中では昭和基地に近づいてくる“しらせ”を毎日、妄想している状態です。

奥に見えるのが南極大陸です。“しらせ”という南極観測船で11月14日に晴海を出港しました。今は飛行機でオーストラリアのパースまで行きます。それで最初に遭遇するのがよっぽど強い人でものたうちまわるような低気圧です。暴風圏です。時化が3日ぐらい続きます。そして南氷洋に抜けていきます。

そして今日来られた皆様は幸運だと思います。ものすごく珍しい現象が去年の隊に出ました。パイレーツ・オブ・カリビアンってご存知ですか。10年に1回死者の国と生者の国をつなぐグリーンフラッシュというのが出てきます。太陽が沈む瞬間、水平線がグリーンになることをグリーンフラッシュといいます。そして150年に1回の現象、このグリーンがブルーになりました。これがブルーフラッシュです。この瞬間に遭遇する事が出来ました。空気が澄まないででこない珍しい現象です。

そして、どんどん進んでいくと冰山ですね、高さが300メートルぐらい、下には1500メートル沈んでいます。そして自分達を迎えるのが昼気楼です。

高嶋氏：船が小さく見えますよね。

3Rトークセッション①

西村先生:マンモスタンカーの10倍以上の冰山です。そして、“しらせ”は低着氷帯という全部氷の地帯に入っていきます。この上の方が全部、蜃気楼です。

藤井氏:さかさまに映るんですね

西村先生:さかさまというか伸びたように映るんですね。そして、“しらせ”の奥は南極大陸、手前のオングル島に入っていきます。自分達はここからヘリコプターに乗って30キロぐらい奥に入っていきます。これで1年2か月みんなとお別れになります。

高嶋氏:映画の中では南極観測隊にいる生活、つらい部分や楽しい部分が描かれましたが1年2か月はつらい体験なのでしょうか。

西村先生:いや、楽しかったです。コココーラさまからも多額のご寄附をいただきましてありがとうございました。

高嶋氏:コココーラさまとのつながりがあるのですか。

西村先生:公式飲料なんです。ペプシコーラは知らんぷりしていました(笑)。

藤井氏:ありがとうございました。

西村先生:南極はブリザードというものすごい嵐がくるんです。日本の台風は瞬間最大風速というじゃないですか、南極は風速50メートルといえば最初から最後まで50メートルの風が吹きます。最初は、30メートルぐらいの風が吹いてきてロープで引っかけて飛ばされないようにしています。1時間ぐらいしたら50メートル、もう外には出れないですね。南極で1人だけ福島隊員という方が殉職されているのですがブリザードで飛ばされて西オングル島という島まで行っちゃいました。3年後ぐらいに見つかる傷ましい事故もありました。これが昭和基地の全景ですが、最初オレンジ色のトラックもこのようになってしまいます。ブリザードで南極の砂にまかれて全部下地が剥げてしまいます。そしてこれからいよいよドーム基地というところに出発します。1,000キロ離れています。

高嶋氏:更にそんなに離れているのですか。

西村先生:大体30日～40日ぐらい掛けて行きます。雪上車でそれを引っ張って行きます。このごろになると隊員の色々なわがままも出てきます(笑) 途中でみずほ基地に寄ります。みずほ基地は雪の中に埋もれた基地です。実はここでみんな楽しみにしている事があります。なんだかわかりますか。

藤井氏:お風呂に入る。

西村先生:正解です。1か月以上お風呂に入っていない状態ですから・・・。

ここでエンジンを立ち上げ、そうするとあたたかい排水が出てきます。それは50度くらいあります。そして周囲の雪を入れたりして40度くらいにまで下げてちょうどいいお風呂の完成です。ここに来ると日本のお父さん達のわがままが出てくる、実はみんな何か食べさせろと言ってきます。そして食料庫に入りウイルスもばい菌もないので腐ることがない食料を調達します。8年前の生柿が出てきました。そしてお菓子のじゃがりこにお湯を入れてポテトサラダを作ります。次に焼肉のリクエストがありました(笑) ホットプレートの代わりにアイロンを3台並べて焼肉をしました。その次に肉じゃがのリクエストがありました。肉を炒めて塩こしょうをしここでコーラを入れます。コーラは、実にスパイスの塊なのです。

藤井氏:コーラでお肉を煮るとお肉が柔らかくなるといううわさがあります。

西村先生:それは本当の事です。そしてドーム基地に40日後に到着しました。あらためて基地の説明をしますが標高が富士山より高いです。3800メートル、平均気温がマイナス57度、記録した最低気温がマイナス79.3度です。40日目につきました。ストレスがない、上司がいない、部下がいない、女房がいない、通勤時間なし、ただしこのような環境です。油断すると凍傷になってしまいます。吐いた息がドライアイスになってしまいます。世界で一番過酷な環境です。

3Rトークセッション①

高嶋氏:施設の中では、暖房とかはどうなっているのですか。

西村先生:氷を溶かして19度になっています。

それでは、クイズ行きましょうか。

あれこれスーパークイズです。例題を出しますので早いもの勝ちで教えてください。

Q1:世界一寒いドーム基地、コップの水を逆さにすると何がおきる？

- ①ばらばらの氷の塊になる。
- ②流水は凍らないので何もおきない。
- ③けむりになる。

正解は3番、けむりになるです。

Q2:昭和基地について、基地に元号をつけても国際的な評価をされないため、このことは実現はしなかったのですが、ある皇族の方の名前を冠するのが内定していました。

- ①エンペラーひろひとステーション。
- ②プリンスあきひとステーション。
- ③プリンセスみちこステーション。

正解は、2番のプリンスあきひとステーションです。

Q3:映画の南極物語では、タロー、ジローが話題になりましたが、実は猫なんかも持っていった事があります。名前は小次郎でした。さて食料にするためにつがいを持ち込んだ動物がいました。その動物とは。

- ①羊 ②豚 ③鶏 ④牛

正解は②の豚です。

実は隊員になれてしまって殺せないでしたが結局、凍死してしまいました。



Q4:昭和基地では作業をする前にラジオ体操をします。それを傍らで見ていたペンギンがとった行動は？

- ①赤ちゃんを守るため鳴き声で威嚇した。
- ②珍しいので近寄ってきた。
- ③逃げた。
- ④一緒にラジオ体操をした。

正解は4番、威嚇行動がラジオ体操をしているかのように見えたんですけどね。

Q5:巣作りができないペンギンはどうするでしょう。

- ①子育てをあきらめる。
- ②他の巣に紛れ込む。
- ③他の巣から石を盗む。

正解は3番です。

藤井氏:盗んでいてもかわいいですね。

西村先生:ここでオーロラの映像見ましょうか。

※ベストオーロラを組み合わせた映像

(3~4分)

西村先生:100年に1回の珍しい写真がこれです。太陽と月とオーロラがいつぺんに出ています。次にあざらしの赤ちゃんの泣き声も聞かせちゃいます。

※あざらしの赤ちゃんの泣き声



3Rトークセッション①

高嶋氏: それでは究極のエコレシピ6品の説明をお願いします。



レシピ1: 水切り濃厚ヨーグルト

レシピ2: ポテ塩ヨーグルトの蜂蜜カナッペ

レシピ3: とんがりコーンのガーリックディップ

レシピ4: 超簡単おかかまぶし

レシピ5: コーヒーコーラ

レシピ6: ちょい足しコーラ りんご酢+コーラ
で大人の味



高嶋氏: 様々な南極のお話とレシピをいただきました。限られたものの中で工夫で創造していくことについて藤井さん、どう感じられましたか。

藤井氏: 資源というものは限りがあると実感しました。皆様も身近なところからエコを意識してもらいたいなと思いました。

高嶋氏: 西村先生は限りある中ですが、すごく楽しんでレシピを生み出しているような気がします。西村先生、今日は3R大会ということでリデュース・リユース・リサイクル 循環型社会、おそらく南極観測隊の中ではあたりまえの事だったと思うのですが、それが私達の生活の中でも大事な環境・時代になってきました。いかがですか。

西村先生: 資源は限られているので、やっぱりもったいないという言葉は常に頭に入れてやった方がいいですね。

藤井氏: 実はコココーラの札幌工場でもコーヒーかすを堆肥にリサイクルしたりしています。

高嶋氏: まずは知る事が大事なので、会場内の北海道や札幌市、環境省、農林水産省の取り組みもしっかり見てみてください。藤井さんありがとうございました。そして南極料理人の西村先生ありがとうございました。どうぞ拍手でお送りください。どうもありがとうございました。



※エコレシピを会場の皆様にも試食

高嶋氏:今日は小型家電の回収という事で家電のいらなくなったものを捨てるのにもお金がかかる時代になりました。どれぐらいの大きさから受け取っていただけるのでしょうか？

村中氏:マテックでは30センチ四方までの小型家電を取り扱っております。札幌市さんとも協力して市役所などにも会場の後方にあるような青いボックスが置いてあります。普段は、マテックの施設、札幌市さんの施設、区役所さんなどに持ち込んでいただければと思っております。

高嶋氏:この後も夕方6時まで行っているのですが30センチ四方ですと例えば小型のノートパソコンも大丈夫という事ですか。

村中氏:そうですね。小型のノートパソコンぐらいなら入ると思いますし、お子さまの小さなゲーム機とかも壊れたものを持ちこんでいただければと思っております。

高嶋氏:小型家電の回収は色々とたくさんあると思うのですが、どのように回収してどのように循環していくのでしょうか。

村中氏:小型家電の中にも金銀や様々なレアメタルといわれる金属、その他の金属も使っておりますので、それをマテックの工場の方に持っていきまして素材ごとに分別を行い工場内でリサイクルできるものは実施し、その他メーカーさんに持ち込んで様々な金属になっていくという作業を行っております。

高嶋氏:どういったものを皆様持ってこられる事が多いですか。

村中氏:最近ですと入れ替えシーズンなどもありパソコンが多いですね。

高嶋氏:電化製品なども思い入れがあって買い替えしてもなかなか捨てられないということありますよね。

村中氏:でも最近ですとWINDOWS7ですとか最新のOSのものに買い替えてしまうという事がありますので古いXPのパソコンなどは使わないという方もおられると思います。是非、使わなくなったパソコンは新しくリサイクルにまわしていただいてこのような活動につながっていただければと思っております。

高嶋氏:今日、お持ちいただいた方には何かプレゼントはあるのですか。

村中氏:今日の6時までなんですけどこちらのマテックのブースの方に持ち込んでいただいた方にはマテックの特製エコバッグとクリアファイルをプレゼントしております。

高嶋氏:クリアファイルも黒いデザインでなかなか見ないかわいらしい感じのものですね。エコバッグはピンクとグレーのゼブラ柄ですね。ご協力ありがとうございます。引き続き宜しくお願いいたします。株式会社マテックの村中さんにお話しをお聞きしました。ありがとうございました。



3Rクイズ大会②

ルミナリア:第1問

3Rの3つのRはリデュース、リソース、リサイクルである。

高嶋氏:○でしょうか?×でしょうか?お答えください。ちょっと簡単だったかな。お願いします。さあ、×が圧倒的に多いですね。

正解は×です。おめでとうございます。

全員立っていただいて間違っただけから座っていただきます。先程、実は同じような問題第1問で出したのですがその時はしっかりと説明していただいて正解○だったのですがなにが違ってましたか。

ルミナリア:これはリソースではなくリユースですね。

高嶋氏:リユースというのは繰り返し使う事でリサイクルとは再生して使用することなので。結構流して聞いていると間違えますね。ひっかけ問題でもありました。さあ続きましていきましょう。次の問題です。お願いします。

ルミナリア:第2問

北海道で出る1年間の生活ごみは札幌ドームに収めることができる。

高嶋氏:○でしょうか?×でしょうか?お願いします。1年間の生活ごみです。想像してみてください。札幌ドームです。さあどうでしょうか?

正解は○です。なんと3名正解がいました。おめでとうございます。実はドーム内に収めることができる量ではあるのですが但しごみを圧縮して水と同じ比重にすることが前提となっております。平成16年ぐらいから札幌市の生活ごみは減っていますので更に札幌市の皆様に頑張ってくださいとだんだんごみを減らして札幌ドームが埋まらないぐらいのごみの量になればと思います。

それでは3名で最後の問題をお願いします。

ルミナリア:第3問

飲み終わった牛乳瓶を花瓶にした、これはリサイクルである。

高嶋氏:さあ○でしょうか?×でしょうか?お願いします。

○と×に分かれました。さあ正解は。

正解は×です。

飲み終わった牛乳瓶を花瓶にしましたので1度使ったものをそのままの形で使う事はリユースと言います。リサイクルではありません。×の方が正解です。おめでとうございます。どうぞ前の方へお越してください。

ウルトラマンのエコバッグと更にルミナリアのカードをプレゼントいたします。実はこの問題、ひっかけ問題でもあるのですよね、おめでとうございます。さあ3Rって何のRかなと思っていた方も多いと思うのですがリデュース・リユース・リサイクルは似ているようで全く仕組みが違うんですよ。それがわかることで様々な生活でも役立つことがありますので改めて会場内の3Rのパネルや資料をご覧くださいと思います。さあ第2回目のクイズ大会、ルミナリアのメンバーから出題していただきました。ありがとうございました。



ライブパフォーマンス②(ジュニアJPOPダンスチーム)

高嶋氏:まなびやはイーアス札幌校 4歳～15歳までが対象のクラスで最新の邦楽ポップスで楽しく踊る ジュニアJPOPダンスチームです。

※まなびやダンスチーム 演目披露

高嶋氏:ありがとうございました。まなびやイーアス札幌校4歳～15歳までのクラスなんだそうですね。さあ、それではまなびやイーアス札幌校の稲垣先生に登場していただきましょう。

高嶋氏:子供達、元気に踊ってくれました。普段はどういったクラスでどんな活動をされておられるのですか。

稲垣先生:幼稚園の年長さんから小学校の高学年までダンスを全くやったことのない子供達をダンスレッスンしています。基本的なストレッチから簡単なステップ、このような音楽にあわせて踊る振付をレッスンの中でやっています。

高嶋氏:子供さんのなかには、全くリズム感がないんですという方もいらっしゃいますよね。

稲垣先生:今ですと中学校に入ると学校の体育の授業でダンスが必須になっているのでそれに向けて全くやったことのない子がいきなりやってしまうとすごくびっくりして踊りがいやになってしまうと思うので、全くやったことのない子でもできる範囲で進めています。

高嶋氏:たくさんの子供達、4歳から15歳までのお子様いると思うのですがクラスの楽しさ、ダンスの楽しさってなんでしょか。

稲垣先生:音楽がかかると自然に体が動くのと違う学校の子供達が集まってレッスンするので色々なところにお友達ができます。学年の違う子などいっぱいお友達ができます。うちのクラスはみんな仲が良いのでレッスン中も笑い声が絶えない楽しいクラスです。

高嶋氏:仲の良さもダンスで表現できたみたいですね。最後にクラスとイーアスマなびや校のPRがありましたらお願いします。

稲垣先生:まなびやイーアス札幌校、毎週水曜日午後5時から6時10分まで70分間のクラスになっています。幼稚園の年長さんからなのですが年中さんから始めたいという方はクラスに見学に来ていただいて無理のない程度でレッスンに参加できます。上は小学校高学年なのですが通える時間であれば中学生でも歓迎です。初心者大歓迎です。是非後ろにあるまなびやイーアス札幌校では見学、体験を受け付けております。

高嶋氏:スクールで楽しむのも良いのですがこのようなステージでみんなに見ていただいてその中で踊るのも楽しみの1つでもありますものね。

稲垣先生:そうですね。たくさんこのような発表のイベントの機会もあります。

高嶋氏:是非、またすてきなダンスを披露してください。ありがとうございました。まなびやイーアス札幌校、ちょうど皆様がステージに向かった真後ろにまなびやのイーアス札幌校がありますので是非、興味のある方お帰りの際にのぞいてくださいませ。



ライブパフォーマンス②(ルミナリア)

ルミナリア:改めましてみなさんこんにちは私たちは札幌を拠点に活動するご当地アイドル ルミナリアです。ここで自己紹介をさせていただきます。

16歳のなおりんこと、なおです。

宜しくお願いします。私がやっている3Rは印刷などで失敗してしまった時に裏が白紙の事ってありますよね。そのような時にその紙を自分ではさみとかで切って重ねていって最後テープで留めてメモ帳にしてメモ帳を買わないようにしてごみを減らすことをしています。今日は一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

ルミナリアリーダーのゆりりんです。

私が取り組んでいる3Rは、マイ箸を持ち歩くことで割りばしなどをつかわないでごみを減らすという事を心がけています。今日1日宜しくお願いします。

17歳のひかりです。

私が取り組んでいるのは良くコンビニとか百均とかでレジ袋をもらわないようにごみを出さないことです。今日も1日お願いします。

18歳のみかです。

私が取り組んでいることは出かける時にマイボトルを持ち歩いています。宜しくお願いします。

えれなです。

私が取り組んでいるのはいらなくなった衣装、服などを他の子にあげたりすることです。宜しくお願いします。

高嶋氏:ルミナリアのみなさんでした。

今1度大きな拍手でお迎えください。ありがとうございました。3R推進北海道大会2013の広報大使に任命されました。1人1人の3Rの取り組みもご紹介していただきました。ありがとうございます。



3Rトークセッション②『みんなでやってみよう！“もったいない”が“カッコいい”宣言』

(株)ソプラティコA. D. S インテリアデザイナー

金森陽子氏

特定非営利活動法人 ひまわりの種の会

理事長 新保るみ子氏

ルミナリア

(コーディネーター:高嶋 伴子氏)



高嶋氏:2回目のトークセッションなのですが全員女性です。女性は、私もそうなのですがエコバッグ、タンブラー1つか2つあればいいと思うのですがなんか買ってしまうんですよ。余計なものを買ってしまうのが女性なのかなと思うのですが、その中でももったいないから繰り返し使うなどのみなさんの日々の暮らしの工夫などもお聞かせいただければと思います。宜しくお願いします。

まず私の隣にいらっしゃるのが株式会社ソプラティコA. D. Sインテリアデザイナーの金森陽子さんです。宜しくお願いします。今日の3Rイベントでは、ちょうどステージ向って右後ろのところにアクセサリーを置いていただいていますよね。

金森氏:そうですね、アクセサリー以外にも色々なリユースした商品、インテリア雑貨を作らせていただいております。それを持ってきました。

高嶋氏:どうしてもリユースしたものはちょっとデザイン性が今一劣るのかなというイメージが私の中ではあったんですよ。でも見てみるとすごく素敵なものが多いですよ。

金森氏:ありがとうございます。

高嶋氏:どのようなきっかけでこのような商品を作ろうと思われたのですか。

金森氏:会社自体は、そもそも店舗のデザインですとか設計をやっています。取り組みのきっかけは、1から作るというのは簡単な事なのですが、あるものを使ってコストを抑えて作ったお店がお客様にとっても喜ばれておりまして、お店だけではなくインテリアの雑貨も作っていったらどうかということで雑貨の方は始めて1年ぐらしか経っていないのですが作らせていただいております。

高嶋氏:デザイナーさんというのは1から作る方が得意なのですね？

金森氏:あるものにした方が簡単ですしコストも安くできるのですが大抵、みなさん1から作りたがります。

高嶋氏:作りたがる方がいるなかであるものを使って更にデザイン性、実用性の高いもの、そして欲しいと思うものこれが3拍子も4拍子もそろって大変な事ですよ。

金森氏:商品を開発するのも結構時間がかかってます。

高嶋氏:1年たってみてみなさんの反応いかがですか。

金森氏:みなさん、面白がっていただいています。

高嶋氏:一瞬見るとアクセサリーだと思うのですが良く見るとねじの部分ですとかアクセサリーこわれたチェーンの部分でできているのです。

3Rトークセッション②

金森氏：ぱっと見た目では、良くわからないのですがよくよく見るとというのが面白さだと思います。

高嶋氏：通常のアクセサリーを売るよりも会話が生まれますよね。

そして、ひまわりの種の会理事長の新保るみ子さんです。宜しくお願ひします。今回3Rのこのイベントにどのような事でご協力いただいていますか。

新保氏：ブースでリサイクルおもちゃの体験コーナーを設けています。

高嶋氏：リサイクルのおもちゃというと楽しく遊べるものですよね。どういったものになるのでしょうか。

新保氏：是非、体験してのお楽しみではあるのですが魚釣りゲームとロケット作りをやっています。

高嶋氏：ロケットとは膨らませた筒の長いものがありますね。

新保氏：これは全てリサイクルでできるおもちゃです。

高嶋氏：家ではおもちゃって子供が大きくなってしまおうと使わないものが多くなるので買うよりも作りたいと思っている方多いと思うのです。服のように大きくなって使わなくなったものを近所のお子様にあげるといのは、おもちゃでは壊れてしまったりしてなかなかできないと思うのですが作ることができたら楽しいと思うんですね。ただ自分の力でおもちゃって作れるのかなと考えたりしますね。

新保氏：実は私の子供が小さい時に子供と2人でちらしを丸めておもちゃと一緒に作ったという思い出があります。親と子の時間が作れて……。家の中でできるものですからすごくメカニカルなものとかではないですがハートがこもっていると思います。

高嶋氏：なかなか捨てられなくなってしまいますね。思い出の品物ですね。

続きましてルミナリアのみなさんなのですが今日、会場内で色々パネルをご覧になってまずは今までの感想を一言お願いできますか。

ルミナリア：今までリサイクルをしてもものを作ったりとかそのような発想自体が普段生活しているとか出てこないと思うのですがこの機会に色々見てみるとリサイクルしたものはそういうものすごく良いところがたくさんあると思ったし自分もできる事からやってみたいと思いました。

高嶋氏：ありがとうございます。お隣の方がいかがですか？

ルミナリア：私も使ったものなどで新しいものを生み出したいと思いました。

高嶋氏：作る方で挑戦したいなと思ったのですね。頼もしいですね。会場内を見てみて3Rで思ったのがこのような事をしなければならぬという思いもそうなのですがデザインを見て、なにか生み出したい創りたいと思う方もいるって事ですよね。

金森氏：そのように思ってくれるとうれしいですね。

高嶋氏：ルミナリアのみなさんは10代ですよね。私たちステージ向って左側の3名はルミナリアさんと同じ年代の頃は意識も薄かったと思います。子供の頃にペットボトルが出てきてリサイクルという言葉自体の認識もなかったと思います。今の時代の若い子供達は大変だなと思ったことないですか。

金森氏：私の子供の頃も考えてなかったですね。

高嶋氏：ごみの分別なども今では全国どこの市町村でもやっていて結構大変ですよね。

金森氏：ごみ箱も何個も必要ですしね。

高嶋氏:そういった取り組みが生活の中に若いころからあるという事もいいことですよ。実際、ルミナリアのみなさんは日々の生活の中で大変だなと思っていることはありますか。大使に任命されて気付いたこととかありますか。

ルミナリア:私は電気をつけっぱなしでよく眠っちゃったりするのですが、そのようなところがダメだなと思っています。あとはペットボトルのラベルは分別しなくてはと意識しています。

高嶋氏:ご自宅でお母さんが積極的にしていること、なにかあったら教えてください。

ルミナリア①:牛乳パックを切ってまな板にしています。

ルミナリア②:生ごみを庭に埋めてあまりごみをださないようにしていました。

ルミナリア③:お風呂の残り湯を洗濯にまわしたりしています。

新保氏:私もるみ子なのでルミナリアでいいですか？ルミナリアさん5人と私のRが加わって6つのRになります。そうすると3Rが2倍おもしろいという事で・・・。

高嶋氏:そこは“お・も・て・な・し”ではないのですね(笑)。

私達の世代から見て若い子達がこのように取り組んでいることについてどうお考えですか？

新保氏:その時の時代背景によって、全くライフスタイルが変化してきています。

高嶋氏:3Rという言葉自体聞いたことがないという方もおられると思いますが生活の中に普通にあることで、それは世代を越えてもあることだと思います。

高嶋氏:ルミナリアさんは大使として任命されて色々活動していくと思うのですが初めて知った事って何かありますか。



ルミナリア:札幌市の家庭のごみの量なども今、減ってきているというのを始めてパネルで知ってこのような取り組みの効果が出てきているのかなと感じています。もったいないと勧めていることがかっこいいではなくダサイと思われている時代もちょっとありましたよね。

金森氏:ちょうどリサイクルという言葉が流行り出した頃とかはそうだったかもしれませんね。

高嶋氏:あまり節約という言葉进行全面に出すのがためられた時もあったと思うのですが・・・。

金森氏:今は逆にそのような事をしていないと冷たい目で見られてしまうような時代になりましたね。

高嶋氏:もったいないがかっこいい、そのかっこいいデザインの部分を担当しているじゃないですか。その責任のようなものを感じますか。

金森氏:責任といいますかアイディアの発信というものをしていかなければいけないのかなとは思っています。

高嶋氏:いいものだと思ってもそれがどのように作られてというところまで関心がもてないというところありますよね。かわいいな、値段いくらかな、素材はなにかなぐらいで終わってしまいますよね。だから私達の側というよりは与えてくれる側がどんどん発信してくれないと受け取れないというのがありますよね。

新保氏:情報自体わからないというのがあるのでおしゃれな感覚でPRしていくのは大切ですね。

高嶋氏:ルミナリアのみなさんは広報大使に任命された時に3RのR、全部知ってましたか？

ルミナリア:全員知りませんでした。リサイクルは耳にすることはあったのですが内容など知ってみて自分が生活している中で何気なく行っていることが3Rにつながっていたるので身近なところからやっっていこうかなと思いました。

3Rトークセッション②

高嶋氏:会場の展示を見てみると札幌市のごみ減量の取り組みをはじめ、環境省、農林水産省、北海道のパネルがあるのですが全部が資源なんですよ、ルミナリアさんが着ているかわいらしい服も全て資源から出来ていて実は資源に限りがあるという事も会場内のパネルを見ていただければわかるかと思えます。限りがあるという事を実感したことってありますか。

金森氏:生活の中では、資源に限りがあると実感した事はないですね。

高嶋氏:西村先生にお話いただいたように南極の生活がすごく大変で資源に限りがあるというお話をキャッチするしか私達に実感が生まれないという事はありますよね。

新保氏:しかし、ガソリン代がどんどん上がってきています。電気代も少しずつ上がってくる。直接、生活に結びついて感じていくことも多くなってきています。

高嶋氏:ルミナリアさんが環境の問題も含めて思っていることなんですか。

ルミナリア:ごみなどを素敵なものに変えることができるのならば私もどんどんそのようなものを使いたいと思いました。

金森氏:ガラスのしずくという商品を出しているのですが、たまたま知り合いでガラス工芸をやられている方がいて工房に遊びに行った時にガラスの玉が段ボールにいっぱい入っていました。これは何ですかと聞くと、これは埋め立てるごみなんだと言われました。

制作時にできるガラスのごみなんですよ。それを見た時にこれ、何かに使いたいと思ひましてマグネットにしたらどうかということで開発したのでこの商品です。

高嶋氏:これから狙っているアイデア等ありますか。

金森氏:テントの素材、コーヒー豆が入っている麻の袋など使用して新商品ができないかと考えています。いつもなにかにできないかと考えてしまうんです。

オリジナリティを重視しています。

高嶋氏:新保さんも何かできないかと考えてしまう時ありますか。

新保氏:私も金森さんの古いバージョンで色々考えています。

高嶋氏:ルミナリアさんの挑戦したいものはありますか。

ルミナリア①:1度使ったものをもう1度使うという行為がなかなかできなかったのですが色々チャレンジしてみたいなと思いました。

ルミナリア②:食べ物を残してしまうのでそれを肥料にするにはどうすればいいか調べたいと思いました。

ルミナリア③:お菓子の缶などかわいいものは何かに使えるかもと捨てないでおくのですが特に何にするのでもなく結局たまってしまつて捨てざるおえなくなってしまうのですが捨てる前にもう1ひねりできないか考えます。

高嶋氏:私も買わずに使えるものを探してみます。

新保氏:使えないはぎれ等を使用してエコバッグづくりなどもやっていきたいですね。おしゃれに作って自慢げに買い物に行きたいですね。

高嶋氏:自分が手を加えたものって人に見せたくなりますよね。じゃあ、ルミナリアさん、代表でリーダーに聞きます。3R推進北海道大会2013広報大使を任命されましたが、今の実感とどのような責任があると思われていますか。

ルミナリア:今はわからない事がどちらかと言えば多いですが、このように任命していただいてどんどん色々な事を知って驚きとかこんな事もあるんだとか思うのですが、そこで終わってはいけないと思って私達自身も取り組みつつ私達に会いに来てくれるみなさんにもどんどん自分達から勧めていくことで、頑張っていかなければと思っています。

高嶋氏:是非、一緒になって頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

高嶋氏:残り時間がもう少しありますのでお二方にはPRお願いできますか。

新保氏:おもちゃづくりをブースの方でやっています。4時からガバチョゲームというのをやりますので…。

高嶋氏:ガバチョってどんなゲームですか。

新保氏:プレイヤーが大統領になれます。大統領になって自分の国の未来を作っていくんですけれども、お金儲けと環境を選びながら豊かな国づくりをするというゲームです。4人でできるゲームです。それと11月中旬から12月までに大通公園でイルミネーションを自然エネルギーであかりを灯しながら行います。

金森氏:REデザインというブランドで今、あるものに価値を加えてできた新しいデザインをコンセプトに色々な商品をブースで販売しておりますので是非、見ていただければと思います。あと、ルミナリアのみなさんが今、1個づつ商品を持ってきてくださっているのですが、ちょっとご紹介させていただいてもいいですか。

これはレコード盤を使ったポストカード入れて壁にかけるとかっこいい感じになります。これはネックレスのチェーンを使って指輪を作りました。

これは古い木を使ったキーホルダーです。これは家にごっそりあるボタンを集めてネックレスにしました。宜しくお願いします。

高嶋氏:“もったいない”が“かっこいい”宣言と題しまして皆様にお楽しみいただきました。本日は、3R推進北海道大会2013広報大使として任命されましたルミナリアの5名のみなさん、そして新保さんと金森さんです。この後もおつきあいいただきます。どうぞ宜しくお願いします。皆様、ありがとうございました。“もったいない”が“かっこいい”宣言と題しまして様々なアイデアいただきました。会場の中でご覧になったアクセサリ、自分ももしかしたら家で何かできるのではなんて不器用な自分でもちょっと勇気がわくトークになりましたね。ありがとうございました。



出展PR③ 特定非営利活動法人ひまわりの種の会理事長 新保るみ子氏

高嶋氏:新保様には、なにやらたくさんものを手にして登場いただきました。

新保氏:先程、ご説明しましたロケットがこちらです

高嶋氏:ロケットという事は飛ぶんですよね。

新保氏:ちょっと飛ばしてみてください。

高嶋氏:意外と飛びますね。

新保氏:これはデパートとかこちらの方にも置いてあると思うのですが雨の日の傘袋を再利用しています。尾翼はカレンダー、包装紙など裏紙を使っております。空気がパンパンに入っていると良く飛びます。

新保氏:もう1つ、魚釣り、竿の部分はちらしを丸めています。お魚さんもカレンダーや裏紙を利用して好きなデザインで、これは、まんぼうですね。このようなものをブースで作成していますので作りに来てください。

そして、これがガバチョです。プレイヤーが大統領になって環境を守っていくかそれともお金儲けをしていくかを大統領が選択します。ガバメントがチョイスするということでガバチョというゲームです。

高嶋氏:環境教育カードゲームなのですか。

新保氏:そうです。森林カードを出すと木がもらえます。生産カードを出すとお金がもらえるのです。実はこのゲームの素材もペットボトルを使ってリサイクル素材を使っています。木のコマもおもちゃづくりをした時にでる端材を使っています。4つの国でどうするか競っていくゲームです。一番問題なのがゲームの間に二酸化炭素がでるのですが、それを削減しなければならないという事です。

高嶋氏:最初にどう選択して進んでいくかも重要な選択になってきますね。

新保氏:小さい子でも大人でもできるゲームです。デザインアワードという賞ももらいました。意外とリアル感のあるゲームでもあります。是非参加してください。

高嶋氏:ひまわりの種の会の新保るみ子さんにご登場いただきました。ありがとうございます。



ルミナリア:第1問

3Rの3つのRはリデュース、リユース、リサイクルである。

高嶋氏:○でしょうか×でしょうか？ さあどうぞ、簡単ですね

正解は○です。おめでとうございます。

リデュースはごみを減らす事でリユースは繰り返し何度も使う事、そして一番私達が耳にするリサイクルは再生して使用する事です。この3つのR、3Rの推進大会となっておりますので是非、覚えて帰ってください。

ルミナリア:第2問

北海道で出る生活ごみの年間量は北海道内で1年間に水揚げされる漁業、養殖業の生産量より少ない。

高嶋氏:さあ○でしょうか×でしょうか？実は1回目の時に玉ねぎの生産量で皆様に考えていただきました。北海道内の水産業は全国でもトップの水揚げ量を誇ります。○か×かさあお願いします。

正解は×です。

北海道内の水産物、平成23年の年間の水揚げ量は132.5万トン、生活ごみの発生量(140万トン)よりは、わずかに少ないのです。北海道の水産物の年間水揚げ量は多いことはわかっていますよね。それよりもちょっと多いのですよ。本当にたくさんの生活ごみの年間量が出ているのです。是非、皆様 今日の夕飯の生ごみをちょっと減らすだけでもご協力いただければと思います。

ルミナリア:第3問

生ごみで肥料を作るのはリデュースである。

高嶋氏:さあ○でしょうか？×でしょうか？さあどうでしょうか。

正解は×です。

正解者が1名になりましたので、まずこの1名にプレゼントさしあげます。ウルトラマンのエコバッグとルミナリアカードを差し上げます。どうぞステージにお越しください。

ここで敗者復活でクイズ大会を続けます。

ルミナリア:第4問

ペットボトルから糸を作って衣服にリサイクルできるでしょうか。

高嶋氏:さあ○でしょうか？×でしょうか？

正解は○です。

ペットボトルを繊維の原材料として使用してユニフォームを作るペットボトルリサイクルという取り組みがあります。皆様が普段飲んでいるジュースのペットボトルもユニフォームへとリサイクルされているのですね。それでは最後の問題です。お願いいたします。

ルミナリア:第5問

フリーマーケットでいらなくなったものを持っている人と欲しい人が売買するのはリデュースである。

高嶋氏:○でしょうか？×でしょうか？1問目を振り返りながら良く考えてください。

正解は×です。

正解ちょうど5名いました。良く聞くと1問目とごっちゃになるのですがリデュースは×なんです。1度使ったものをそのままの形で使われるのでリユースになります。3Rのリデュース、リユース、リサイクルを是非、覚えてくださいね。

5名にプレゼントが用意されます。ウルトラマンエコバッグ、スーパーの買い物袋にそのまま入れる事ができる大きさになっております。おめでとうございます。



ライブパフォーマンス③(ルミナリア)

ルミナリア:改めましてみなさんこんにちは。私たちは札幌を拠点に活動するご当地アイドル ルミナリアです。ここで自己紹介をさせていただきます。

16歳のなおりんこと、なおです。

宜しくお願いします。私がやっている3Rは印刷などで失敗してしまった時に裏が白紙の事ってありますよね。そのような時にその紙を自分ではさみとかで切って重ねていって最後テープで留めてメモ帳にしてメモ帳を買わないようにしてごみを減らすことをしています。今日は一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

ルミナリアリーダー17歳のゆりりんです。

私が取り組んでいる3Rは、マイ箸を持ち歩くことで割りばしなどをつかわないでごみを減らすという事を心がけています。今日1日宜しくお願いします。

17歳のひかりです。

私が取り組んでいるのは、良くコンビニとか百均とかでレジ袋をもらわないようにして、ごみを出さないことです。今日も1日お願いします。

18歳のみかです。

私が取り組んでいることは、出かける時にマイボトルを持ち歩いています。宜しくお願いします。

18歳のえれちゃんことえれなです。

私が取り組んでいるのは、いらなくなった衣装、服などを他の子にあげたりすることです。

宜しくお願いします。



ライヴパフォーマンス③(JAMJAMクラブ 大通気軽に踊り隊)

高嶋氏:さあ、今日はたくさんのかわいらしい子供達のダンスステージをご覧いただいております。ダンススクールJAMJAMクラブ大通気軽に踊り隊のみなさんのステージとなります。それでは宜しくお願いいたします。

※ダンスステージ

JAMJAM先生:みなさん、こんにちはJAMJAMです。ダンススクールです。今日はみなさんの前で日頃行っていることを披露しようと思ひましてこの場に立たせていただきました。これからみなさんに振りを教えるので是非一緒に踊ってください。

※振付レッスン

♪恋するフォーチュンクッキー♪

高嶋氏:このあと会場内は6時まであと、10分程でしょうか。そしてこの10分程なのですが先程ステージを盛り上げていただきましたダンススクールJAMJAMのみなさんにあらためてステージに登場いただきまして最後ダンスステージ皆様にお楽しみいただきたいと思ひます。それでは会場の皆様、ステージの前の方にお集まりいただきましてご参加ください。

ダンススクールJAMJAMのみなさんです。それでは宜しくお願いします。

※ダンスステージ

是非、一緒に踊って最後お楽しみくださいね。

高嶋氏:ありがとうございました。

ダンススクールJAMJAMのみなさんでした。



閉会挨拶

ご紹介いただきました環境省北海道地方環境事務所の笹木と申します。

今日は1日お忙しいなかこの大会にご出席いただきまして誠にありがとうございました。

最後に想定外の盛り上がりがありまして、スタッフ一同楽しいクロージングに繋がられたのではないかと思います。

今年の大会ではみんなでやってみよう！エコ・トライ・アールをテーマに身近な3Rの実践を主眼に開催いたしました。



環境省北海道地方環境事務所
統括環境保全企画官
笹木 秀敏

今日の講演やトークセッションでは講師の先生や参加者の皆様から私達のライフスタイルを改めて見直すのに大変、参考になるお話をお聞きできたのではないかと思います。

大会を盛り上げていただきました参加者のみなさん、講師の先生、ルミナリアのみなさん、その他多くのかたがたには、長時間に渡り本当にありがとうございました。

また大会の運営に参加、ご協力いただいたスタッフの方々にもあらためて御礼申し上げます。

これを機会に私ども北海道地方環境事務所と致しましても3Rの推進、啓発事業に更なる展開を行い循環型社会の形成に向けて一層、施策を推進してまいりたいと思っております。

今後ともどうぞ宜しくお願いします。

最後に会場の皆さん、3Rは私達1人1人の日常の取り組みです。

今日から皆様が出来ること、出来る範囲の事から3Rを実践していただければと思います。

今日は長時間、本当にありがとうございました。

平成25年 12月

環境省 北海道地方環境事務所 環境対策課

〒060-0808
札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎
TEL 011-299-1952
FAX 011-736-1234

委託機関 ㈱セレスポ 札幌支店

〒003-0809
札幌市白石区菊水9条3丁目5-13
TEL 011-821-1810
FAX 011-821-1811

本事業は、環境省北海道地方環境事務所の委託により実施したものです。[禁無断転載]

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「Aランク」のみを用いて作製しています。

